

第2回 平成筑豊鉄道沿線地域公共交通協議会

沿線市町村の財政状況

令和7年3月27日



①主な財政指標の状況（令和5年度決算）

- 沿線市町村の財政力指数の平均は、0.36で県平均の0.52を下回っている（県平均を上回っているのは2市のみ）。
- 沿線市町村の経常収支比率の平均は、93.1%で、県平均の91.9%を上回っている（県平均を下回っているのは5市町村のみ）。
- 以上のことから、沿線市町村は、相対的に財政状況が厳しい中、平成筑豊鉄道に対する財政支援を続けていることが分かる。

	財政力指数	経常収支比率(%)
直方市	0.55	98.9
田川市	0.43	98.4
行橋市	0.63	89.5
小竹町	0.32	90.7
香春町	0.30	91.6
糸田町	0.22	97.7
赤村	0.15	86.2
福智町	0.27	95.9
みやこ町	0.34	89.3
沿線市町村平均	0.36	93.1
県内市町村平均	0.52	91.9

※財政力指数

地方公共団体の財政力を示す指標で、「1」に近く、さらに「1」を超えるほど財源に余裕があるとされる。

※経常収支比率

財政構造の弾力性を測定する指標で、人件費、扶助費、公債費等の経常的な経費に充てる一般財源と、地方税、普通交付税等の経常一般財源との比率。この比率が低いほど、臨時的経費に充当できる一般財源に余裕があるとされる。

②平成筑豊鉄道への支援額及び公共交通予算（令和6年度予算）

- 令和6年度の沿線市町村から平成筑豊鉄道に対する支援額は、総額約4.5億円。
○また、各市町村においては、平成筑豊鉄道以外の地域公共交通を維持・確保するため、コミュニティバスやデマンド交通の運行、路線バス等への支援を実施。

○平成筑豊鉄道への支援額、公共交通予算（令和6年度予算）

（単位：千円）

	平成筑豊鉄道への 支 援 額	他の公共交通予算	
		予算額	主な用途
直 方 市	77,171	84,701	コミュニティバス運行、路線バスへの支援、筑豊電気鉄道への支援
田 川 市	107,028	47,984	コミュニティバス運行、路線バスへの支援
行 橋 市	68,615	33,826	路線バスへの支援、プレミアム交通券の発売（実証事業）
小 竹 町	10,504	11,787	無料送迎バス運行（巡回バス）
香 春 町	25,779	34,816	デマンド交通運行（かわらくバス）、路線バスへの支援
糸 田 町	25,119	40,056	デマンド交通運行（いっとこカー）、無料送迎バス運行（福祉バス）
赤 村	31,650	2,959	デマンド交通運行（無料送迎バス）
福 智 町	64,276	70,670	デマンド交通運行（ふく～るバス）
みやこ町	43,858	12,211	デマンド交通運行（あいのりタクシー）、路線バスへの支援
合 計	454,000	339,010	

○沿線自治体による財政支援（経営安定化助成金）

年度	平成14～19年度	平成20～22年度	平成23～令和元年度	令和2～4年度	令和5～7年度
支援額	0.22億円/年	0.48億円/年	1.50億円/年	2.41億円/年	3.04億円/年

※令和6年度は、1.5億円を追加支援

③平成筑豊鉄道への税金の使い方に対する意識（あり方検討より抜粋）

- 平成筑豊鉄道が実施した沿線住民意向調査の結果によると、約7割が「平成筑豊鉄道を維持すべき」と回答。
- 一方で、現在の自治体負担額（アンケート時点は2.4億円）をさらに増やすことに対しては約5割が否定的。

○平成筑豊鉄道が実施した沿線住民意向調査の結果（調査実施期間：R5.2.1～2.20）

